詩の部

※作品内の表現については原文のまま掲載しています。

小学校

最優秀賞

(本文の掲載はありません)

優秀賞

「まちがいでではなく、ちがうだけ」

日新小学校 2年生 伊藤 泰成さん

たべもののこのみも、
しんちょうやたいじゅうも、
べんきょうができなくても、
うんどうができなくても、
とくいでもとくいじゃなくても、
目の色がちがっても、
はだの色がちがっても、

まちがいじゃない。

ただちがうだけ
みんな、大切ないのち。

優秀賞

「明日」

日新小学校 6年生 井伊 寿也さん

バイバイまた明日
明日も友達と遊ぶ
家に帰って宿題をする
ああ明日も学校かあ
あたり前に明日は来ると思っている

世界ではある日突然明日がうばわれる
そういう毎日を送っている人々もいる
朝起きて、ご飯を食べて学校へ行く
友達と笑ったり、けんかしたり
帰って来て、友達と遊んで晩ご飯たべて
お風呂入って 寝る
宿題もやる
なんでもない毎日
なんにもないようにみえる毎日
それが幸せなんだ
明日が来る奇跡
また明日

中学校

最優秀賞

「わたしの水平社宣言」

長南中学校 2年生 岩森 理さん

なぜ同じ人間を差別する

ちがいがあある人間を差別しているのなら
それは個性を理解していないことと同じだ
差別は同じ人間、同じ仲間を
いじめていることと同じだ
差別は自分で自分を
いじめていることと同じだ

なぜ同じ人間を差別する

差別を受けている人に言いたい
「あなたは何も悪くない」

なぜ同じ人間を差別する

この世の中に
差別されていい人なんていないのだ
この世の中に
差別はあってはならないのだ
だから差別をなくすのだ

なぜ同じ人間を差別する

「それはまちがってる」と差別をとめよう

話し合っ理解を広げよう

そして、差別をなくす仲間を増やそう

行動を起こそう

なぜ同じ人間を差別する

人間は尊敬し合うもの

だから差別をなくすのだ

優秀賞

「人々の権利」

第三中学校 1年生 畑中 碧衣さん

人権とは人が人間らしく生きること

人権とは生まれながら持っている権利である

人権はだれもが持っている

物を買うことも権利

生きること権利

話せることも権利

命を守ることも権利

明るく 楽しく生きること権利

歩けることも権利

何かを食べる事も権利

しかし何でもしていいわけでもない

人の命を失くしてはならない

人の心に傷をつけてはならない

人を傷つけてはならない

最期までおいつめてはならない

しかし必ずしないといけない事もある

人の命を守ること

自分の命を守ること

生きること

死なないこと

自分の思いを大切にすること

すべてが人の権利である
だが みんな同じ人間でも
個性があってこそ人間
全員同じ生き方じゃなくていい
一人ひとり全く違う生き方でいい

それも権利
生きること自体が
人間の権利という物なのだ

優秀賞

「わたしたちがつくる未来」

長南中学校 2年生 小松屋 好未さん

朝めざめ
朝食をとり
仕事へ行き、学校へ行き
昼食をとり
友人とあそび、買い物に行き
夕食をとり
お風呂に入り
布団に入る

こんな日常をこわす
それが戦争

水
食べ物
家
自然
思い出
夢
友人
家族
希望
人権
命

これを奪う
それが戦争

戦争で何もかも失う
そんな戦争をなくしたい

戦争を知る
命の大切さを知る
意見を受けとめる
話し合う
一人ひとりの人権を尊重する

戦争をなくすために
行動しよう

微力だけど無力じゃない

戦争のない世界をつくるのは
わたしたちだ

みんなが幸せに生きられる未来をめざして